（国際スポーツ大会推進部）　　（単位：千円）

主要な施策	予算額	決算額	施策の成果	目名
4　世界とつながる新たな熊本の創造 【施策13】世界と熊本をつなぐヒト・モノの流れの創出 施策13－①「KUMAMOTOブランド」の世界展開	3,038,627	3,007,346	1　2019女子ハンドボール世界選手権大会推進事業 11月30日から12月15日にかけて2019女子ハンドボール世界選手権大会が開催され、24か国が参加し、16日間にわたって全96試合が県内３市５会場で実施された。当初の目標としていた観戦者数30万人を達成し、大成功の大会となった。期間中は、ボランティア・医療関係者・ハンドボール協会関係者・行政職員など多くの関係者の協力により、大きなトラブルも無く安全に大会は運営され、県内に大きな経済効果とレガシーを残した。 ・総観戦者数(96試合)：315,748人 ・経済波及効果(推計)：98.52億円	観光費のうち P311 ～ P313
			2　ラグビーワールドカップ2019推進事業 10月６日にフランス対トンガ、10月13日にウェールズ対ウルグアイの２試合が熊本県民総合運動公園陸上競技場で開催され、両試合とも満員のスタジアムで熱戦が繰り広げられた。多くの外国人ラグビーファンが熊本を訪れ、様々なおもてなしを通して熊本の魅力をアピールするとともに、選手たちとの交流事業や訪問者とのふれあいなど、さまざまな形で国際交流が促進された。 ・観客数：フランス対トンガ(10月6日) 28,477人 ウェールズ対ウルグアイ(10月13日)　27,317人 ・経済波及効果(推計) 106.76億円	観光費のうち P311 ～ P313
			3　オリンピック・パラリンピックキャンプ誘致推進事業 聖火リレーについて、県内のリレールートを決定し、聖火ランナーの選出を行った。また、事前キャンプ誘致について、インドネシアバドミントン代表チームの事前キャンプ実施に係る調印を行うとともに、市町村の誘致活動の支援を行った。	観光費のうち P311 ～ P313
			4　国際スポーツ推進事業 オール熊本で国際スポーツ大会の成功に向けて取り組んで行くため、平成28年度に設立した行政、民間関係団体の代表者等約320名で構成する「熊本国際スポーツ大会実行委員会」メンバーへの情報提供や、大会観戦の呼びかけにより、機運醸成を図った。	観光費のうち P311 ～ P313